

# 環境経営レポート

対象期間:2019年5月~2020年4月



札幌自動車道 手稲インターチェンジ



阿部建設株式会社

発行日:2020年9月15日(第十一版)

# 【目次】

1. 事業概要	.....	1
1) 事業者名及び代表者名		
2) 所在地		
環境3) 事業活動の内容		
4) 事業規模		
5) 適用事業範囲		
6) 責任者及び事務局		
7) EA-21推進組織図	.....	2
2. 環境経営方針	.....	2
3. 環境経営目標	.....	3
4. 環境活動計画の内容	.....	3
5. 環境目標に対する達成状況(1年間)	.....	4
6. 活動結果の推移		
1) 事業規模・電気・車両燃料・暖房燃料・水	.....	5
2) 事業規模・総廃棄物量・リサイクル率	.....	6
7. 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容		
1) 総電気使用量の削減	.....	7
2) 業務車両燃料使用量の削減	.....	8
3) 暖房燃料使用量の削減	.....	9
4) 総廃棄物量の削減	.....	10
5) 廃棄物リサイクル率の向上	.....	11
6) 本社年間水使用量の削減	.....	12
7) 環境配慮商品の購入促進	.....	13
8) 環境保全取組実施	.....	14
8. 環境関連法規の遵守状況と違反、訴訟等の有無	.....	15
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	.....	16

## 阿部建設(株)本社

鉄骨造 4階建

- 4F (株)みどり商事  
小樽建設事業協同組合  
会議室、資料室、他
- 3F 建築部、土木部  
打合せ室、他
- 2F 総務部、営業部  
応接室、会議室、他
- 1F 玄関、駐車場



## 1. 事業概要

### 1) 事業者名及び代表者名

阿部建設株式会社

代表取締役 中野 豊

### 2) 所在地

環境経営レポート

北海道小樽市緑1丁目5番1号

### 3) 事業活動の内容

- ・ 総合建設業（建築工事業・土木工事業）

建設業許可：北海道知事許可(特-30)後第00030号

建設士事務所登録：一級建築士事務所北海道知事登録(後)第12号

宅地建物取引業者免許：北海道知事後志(11)第153号

### 4) 事業規模

項目	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
工事受注件数	件	371	349	316	295	200
売上高	百万円	3,516	3,630	5,304	3,985	3,818
従業員数	人	59	57	56	56	59
床面積	m <sup>2</sup>	1,283.12	1,283.12	1,283.12	1,283.12	1,283.12
敷地面積	m <sup>2</sup>	578.83	578.83	578.83	578.83	578.83

### 5) 適用事業範囲

- ・ 適用事業場の所在地と主要業務内容は以下の通り

阿部建設(株)本社：北海道小樽市緑1丁目5番1号

- ・ 土木工事及び建築物の設計・施工

- ・ 社内全般の管理業務・営業活動

(株)みどり商事：北海道小樽市緑1丁目5番1号(本社4F)

- ・ 土地、家屋取引全般の管理業務・営業活動

建設現場：北海道内

- ・ 土木工事及び建築物の施工、施工管理

資材置き場：北海道小樽市朝里4丁目154他

- ・ 土木、建築資材の保管場所

### 6) 環境管理責任者及び事務局

EA-21 管理責任者：業務部 今野 博

EA-21 事務局：業務部 大町 徳是

#### 連絡先

連絡担当者：大町 徳是(EA21 事務局)

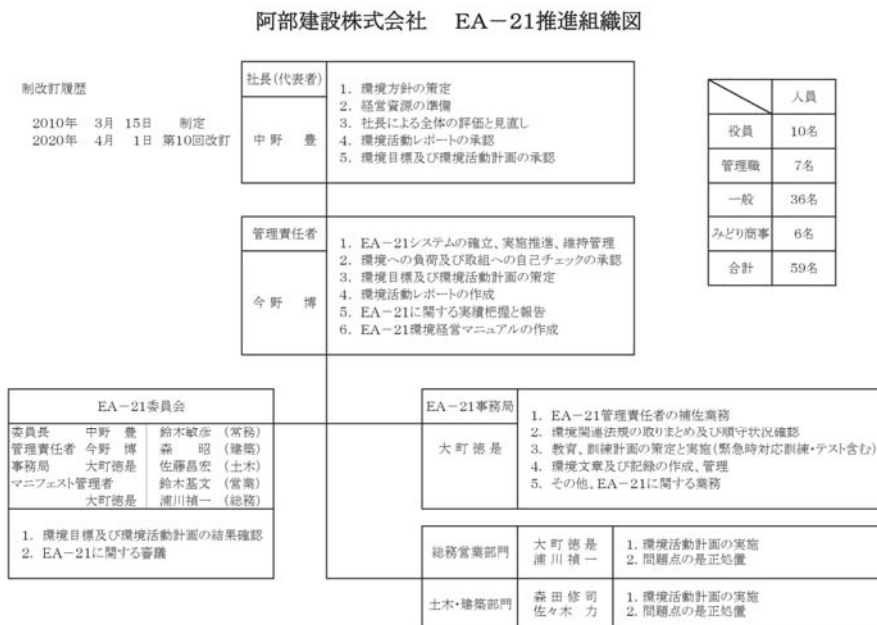
TEL：0134-23-6221

FAX：0134-33-8621

E-mail：[n-ohmachi160620@abeken.jp](mailto:n-ohmachi160620@abeken.jp)

URL：<http://abeken.jp>

## 7) 推進組織図



## 2. 環境経営方針

### 環境経営方針


#### I. 基本理念

阿部建設株式会社は、故郷の豊かな自然と大きく関わりながら事業活動を行っていることを深く認識し、その豊かさを未来につなぐべく環境問題に取り組み、継続可能な循環型社会の形成を目指します。

#### II. 行動指針

1. 事業活動に当たって、技術的・経済的に可能な範囲で環境保全活動を行います。
2. 環境関連の法規、条例及びその他の規制を遵守します。
3. 次の項目を重点環境目標として取り組みます。
  - 1) 一般廃棄物、産業廃棄物の分別を行い、リサイクルに努めます。
  - 2) 省資源、省エネルギーに努め、環境負荷の低減を図ります。
  - 3) 事業活動においては環境に配慮した資材や製品を積極的に使用します。
  - 4) 社内外に対して、打ち合わせや会議のリモート化を推進し、書類の電子化や電子決済システムを拡充し物理的資源の省力化を図ります。
4. 需要が不透明な状況であっても地域の自然を守り観光資源や人的資源を維持し未来に繋げる行動に取り組みます。
5. この方針と指針は、阿部建設全社員が常に環境意識を高め行動するように、社会にも公表し周知徹底します。

制定日 令和2年7月1日


**阿部建設株式会社**  
 代表取締役 中野 豊

### 3. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。  
尚、目標設定の基準値は2015年度～2017年度の過去3年間で平均した値を使用しております。

取組項目	過去3年間の実測平均値と単位 (2015年度～2017年度)	短期目標	中期目標
		(2020年度)	(2021年度)
二酸化炭素 排出量 の削減	1) 総電気使用量 147,200kwh 147,200*0.678=99,802 (kg-CO2)	4%削減 141,300kwh	6%削減 138,400kwh
	2) 業務車両燃料使用量 67,100L 67,100*2.322=155,806 (kg-CO2)	4%削減 65,800L	6%削減 63,100L
	3) 暖房燃料使用量 64,500L 640,500*2.489=160,541 (kg-CO2)	4%削減 63,200L	6%削減 60,600L
	◎ 二酸化炭素排出量合計 416,100kg-CO2	4%削減 399,400kg-CO2	6%削減 391,100kg-CO2
廃棄物排出量 の削減	4) 総廃棄物量 17,500t (年間総量)	4%削減 15,300t	6%削減 14,900t
	5) 廃棄物リサイクル率の向上 90.9%	リサイクル率 93.0%	リサイクル率 94.0%
水資源使用量 の削減	6) 本社年間水使用量 228m3	4%削減 219m <sup>3</sup>	6%削減 214m <sup>3</sup>
環境配慮商品 の購入促進	7) 52 品目 (2017年度現在)	2017年度+20品目増 72品目	2017年度+30品目増 82品目
環境保全 取組の促進	8) 環境保全取組実施	ボランティア活動 2回 千年の森参加 1回	ボランティア活動 2回 千年の森参加 1回

※ 購入電力の排出係数については、2017年(平成29年)の北海道電力/0.678kg-CO2/kwhを用いて算出しています。

### 4. 環境活動計画の内容

取組項目	2020年度の活動計画内容	
二酸化炭素 排出量 の削減	1) 総電気使用量の削減	・ 未使用時の電気消灯の徹底 ・ 電気冷暖房の温度設定と稼働時間の設定
	2) 業務車両燃料使用量の削減	・ アイドリングストップの徹底 ・ 燃料使用量と走行距離の把握
	3) 暖房燃料使用量の削減	・ 空調の温度管理 ・ 定期点検清掃の実施
廃棄物排出量 の削減	4) 総廃棄物量の削減	・ 分別の理解と実施の徹底 ・ 両面集約コピーと裏紙利用の促進
	5) 廃棄物リサイクル率の向上	・ リサイクル化の検討・実施 ・ 分類別に再生利用ルートの改善
水資源使用量 の削減	6) 本社年間水使用量の削減	・ 節水の呼びかけ ・ 流水音発生装置の導入
環境配慮商品 の購入促進	7) 環境配慮商品の購入促進	・ エコマーク商品の優先購入 ・ 古紙率の高いコピー用紙・名刺の利用促進
環境保全 取組の促進	8) 環境保全取組実施	・ 敷地周辺・現場での地域清掃ボランティア活動 ・ 北海道千年の杜プロジェクト参加

## 5. 環境経営目標に対する達成状況

良く出来ました!  
**10点**  
(100%以上)

もう少し頑張れ!  
**7点**  
(85%以上)

まだまだ頑張れ!  
**4点**  
(70%以上)

ダメダメです。喝!  
**0点**  
(69%以下)

取組項目	過去3年間の実測平均値と単位 (2015年度～2017年度)	2019年度(1年間)実績値	
		目標値	達成状況
二酸化炭素 排出量 の削減	1) 総電気使用量 147,200kwh $147,200 \times 0.678 = 99,802$ (kg-CO2)	過去3年平均 対比2%削減 144,300kwh	良く出来ました! 達成率 142.2% 101,473kwh
	2) 業務車両燃料使用量 67,100L $67,100 \times 0.0671 \times 34.6 = 137,442$ (kg-CO2)	過去3年平均 対比2%削減 658,000L	もう少し頑張れ! 達成率 91.1% 72,209L
	3) 暖房燃料使用量 64,500L $64,500 \times 0.0679 \times 36.7 = 160,729$ (kg-CO2)	過去3年平均 対比2%削減 63,200L	良く出来ました! 達成率 401.2% 15,742L
	※ 二酸化炭素排出量合計 394,700kg-CO2 【2014年(平成26年)の北海道電力/0.683kg-CO2/kwh使用】	過去3年平均 対比2%削減 386,800kg-CO2	良く出来ました! 達成率 141.4% 273,288kg-CO2
廃棄物排出量 の削減	4) 総廃棄物量 15,900t	過去3年平均 対比2%削減 15,600t	良く出来ました! 達成率 257.7% 4,372.7t
	5) 廃棄物リサイクル率の向上 90.9%	リサイクル率 93.0%	良く出来ました! 達成率 107% 99.5%
水資源使用量 の削減	6) 本社年間水使用量 228m <sup>3</sup>	過去3年平均 対比2%削減 226m <sup>3</sup>	良く出来ました! 達成率 107% 203m <sup>3</sup>
環境配慮商品 の購入促進	7) 42品目(2015年度実績)	2018年度 +5品目増 52品目	目標達成 5品 目増 57品目
環境保全 取組の促進	8) 環境保全取組実施	環境教育 2回 ボランティア活動 2回 千年の森参加 1回	目標達成 環 境教育 2回 ボランティア活動 2回 千年の森参加 1回
総合点数	10点+7点+10点+10点+10点+10点+10点+10点+10点=87点 87点/90(9項目)*100		<b>97点</b>

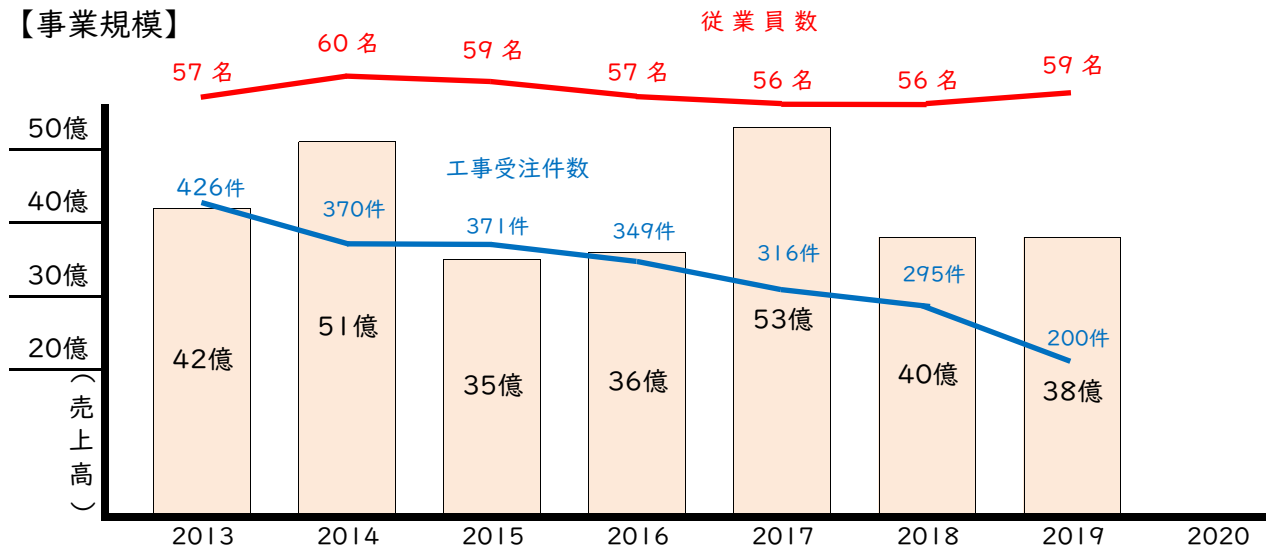
◆ 実績値は、2019年5月～2020年4月までの1年間とします。

上記結果について、各項目の実施データ及び環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容を7ページより掲載致します。

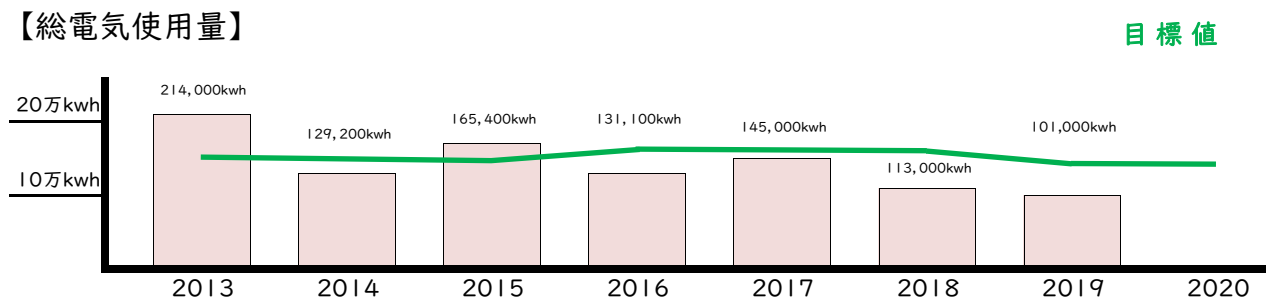
## 6. 活動結果の推移

### 1) 事業規模・電気・車両燃料・暖房燃料・水

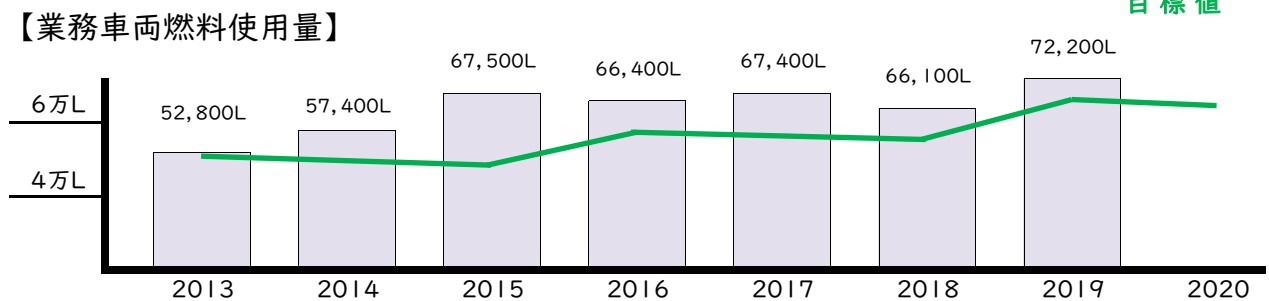
【事業規模】



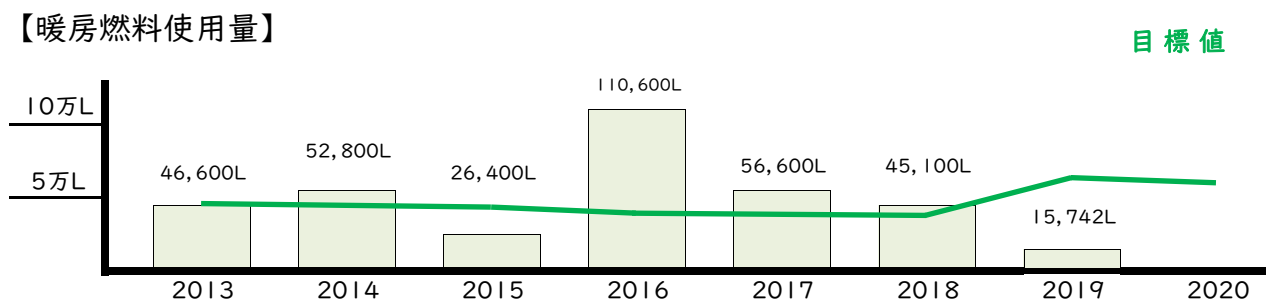
【総電気使用量】



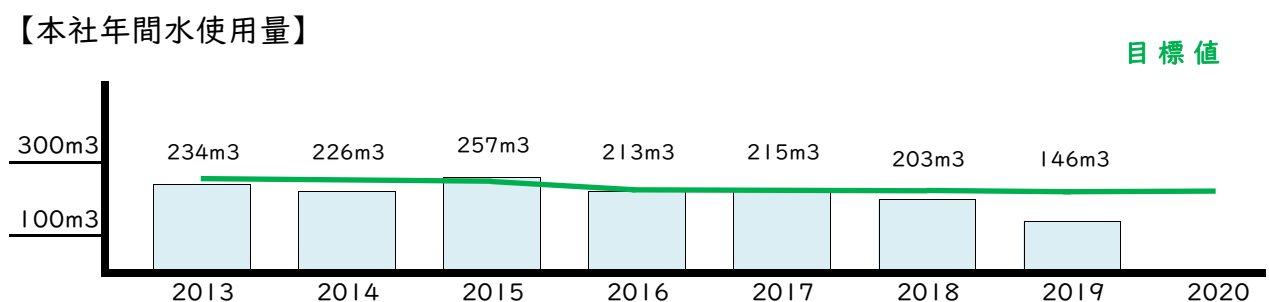
【業務車両燃料使用量】



【暖房燃料使用量】

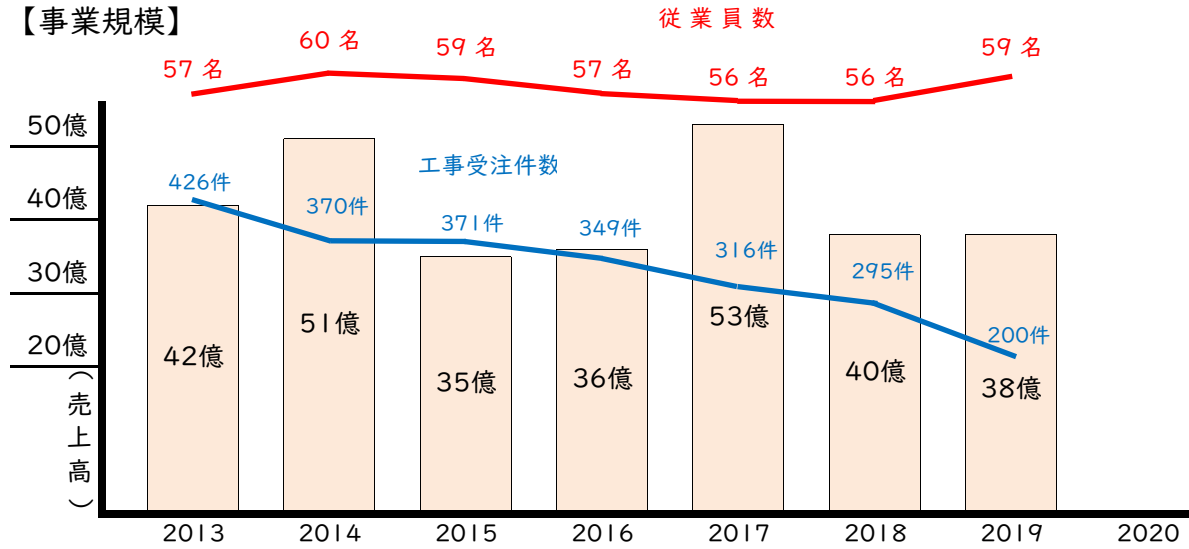


【本社年間水使用量】

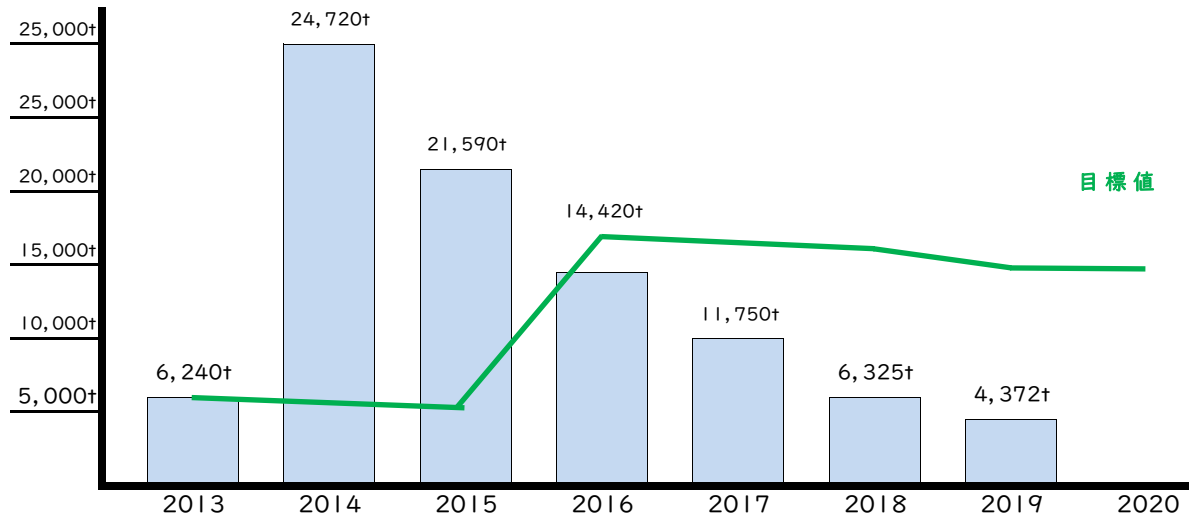


## 2) 事業規模・総廃棄物量・リサイクル率

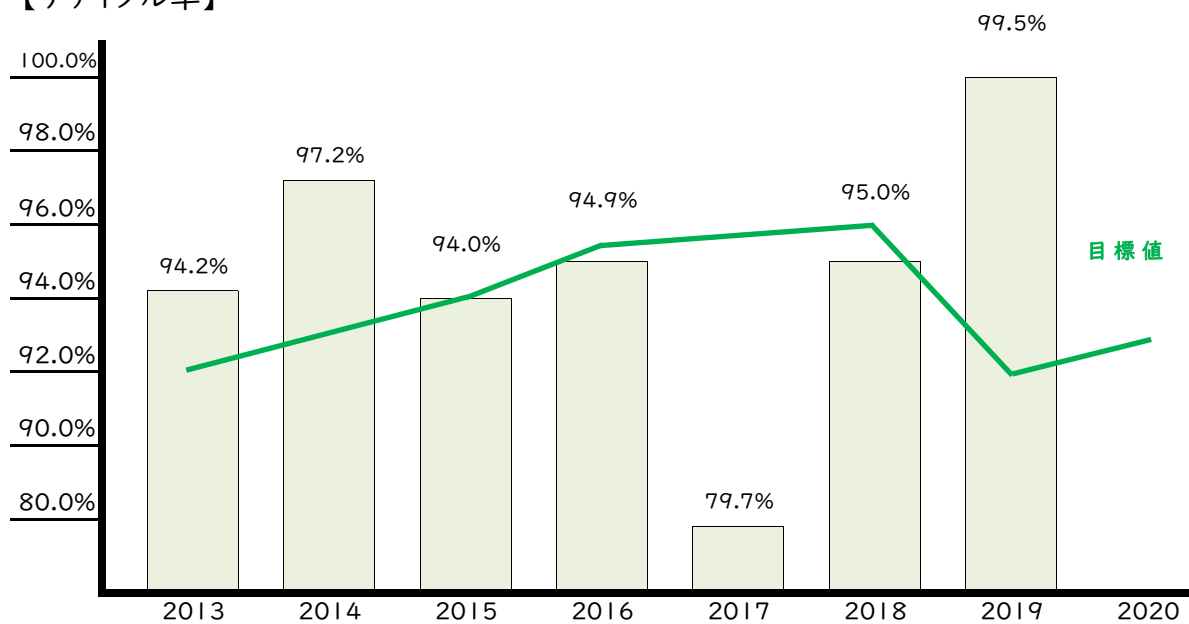
【事業規模】



【総廃棄物量】



【リサイクル率】





## 7. 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容

### 環境活動計画結果管理表（二酸化炭素排出量の削減）

#### 1) 総電気使用量の削減

##### <第1・2四半期>

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第1・2四半期合計	担当部署
			第1四半期			第2四半期				
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の実測平均値 対比 7%削減 (157,600 kwh)	①未使用時の電気消灯の徹底	実施計画	①②③④	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	—	全部門
	②電力不要時の負荷遮断	実施結果	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	—	建築部 土木部
	③設備更新時に省エネ型の採用	目標値 (kwh)	7,409	7,976	12,700	11,924	17,802	12,739	70,550	総務部
	④電気冷暖房の温度設定と稼働時間の設定	実施値 (kwh)	5,830	4,536	4,614	6,326	6,753	6,859	34,918	全部門
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	達成率	127.1%	175.8%	275.2%	188.5%	263.6%	185.7%	202.0%		

##### <第3・4四半期>

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第3・4四半期合計	担当部署
			第3四半期			第4四半期				
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の実測平均値 対比 7%削減 (157,600 kwh)	①未使用時の電気消灯の徹底	実施計画	①②③④	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	—	全部門
	②電力不要時の負荷遮断	実施結果	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	①②④	—	建築部 土木部
	③設備更新時に省エネ型の採用	目標値 (kwh)	15,762	15,675	13,198	11,034	9,030	9,051	73,750	総務部
	④電気冷暖房の温度設定と稼働時間の設定	実施値 (kwh)	9,660	12,240	18,116	10,326	8,737	7,476	66,555	全部門
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	◎	◎	×	○	○	◎	◎	
	達成率	163.2%	128.1%	72.9%	106.9%	103.4%	121.1%	111%		

##### <取組結果の評価>

	評価	目標値 (kwh)	実施値 (kwh)	達成率
第1四半期（5月～7月） 7月までの総合評価	◎	28,085	14,980	187.5%
第2四半期（8月～10月） 10月までの総合評価	◎	42,465	19,938	213.0%
第3四半期（11月～1月） 1月までの総合評価	○	44,635	40,016	111.5%
第4四半期（2月～4月） 4月までの総合評価	○	29,115	26,539	109.7%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>◎</b>	<b>144,300</b>	<b>101,473</b>	<b>142.2%</b>

##### < EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

昨年に引き続き活動を始めて以来、最も低い数値となりました。暖冬の影響、厳寒期の工事作業がほとんどなかったことなど要因としてはいくつかありますが引き続き継続していけるように呼びかけをしていきます。

本社をはじめ殆どの現場事務所で電気使用量が減少の傾向が維持されていることを高く評価し、現在進行している現場の状況も踏まえて電気使用量の削減に努めて参ります。

## 環境活動計画結果管理表（二酸化炭素排出量の削減）

### 2) 業務車両燃料使用量の削減

<第1・2四半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第1・2 四半期 合計	担当 部署
			第1四半期			第2四半期				
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の 実績平均値 対比 7%削減 (55,000L)	①アイドリングストップの徹底	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②燃料使用量と走行距離の把握	実施結果	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	③低燃費車の活用促進	目標値 (L)	5,068	5,623	6,008	6,273	5,979	6,813	35,764	全部門
		実施値 (L)	6,878	6,784	8,018	6,547	7,418	8,230	43,874	
		評価	×	△	×	△	△	△	△	
		達成率	73.7%	82.9%	74.9%	95.8%	80.6%	82.8%	81.5%	

※ 評価について  
 目標値を大幅に達成 ◎(120%以上)  
 目標値を達成 ○(100~119.9%)  
 目標値を若干下回った △(99.9~80%)  
 目標値を大幅に下回った ×(79.9%以下)

<第3・4四半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第3・4 四半期 合計	担当 部署
			第3四半期			第4四半期				
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の 実績平均値 対比 7%削減 (55,000L)	①アイドリングストップの徹底	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②燃料使用量と走行距離の把握	実施結果	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	③低燃費車の活用促進	目標値 (L)	5,408	7,059	4,927	4,048	4,509	4,085	30,036	全部門
		実施値 (L)	6,952	7,466	4,301	3,541	3,979	2,097	28,335	
		評価	×	△	○	○	○	◎	△	
		達成率	77.8%	94.6%	114.6%	114.3%	113.3%	194.8%	106.0%	

※ 評価について  
 目標値を大幅に達成 ◎(120%以上)  
 目標値を達成 ○(100~119.9%)  
 目標値を若干下回った △(99.9~80%)  
 目標値を大幅に下回った ×(79.9%以下)

<取組結果の評価>

	評価	目標値(L)	実施値(L)	達成率
第1四半期(5月~7月) 7月までの総合評価	×	16,699	21,680	77.0%
第2四半期(8月~10月) 10月までの総合評価	△	19,065	22,194	85.9%
第3四半期(11月~1月) 1月までの総合評価	△	17,394	18,718	92.9%
第4四半期(2月~4月) 4月までの総合評価	◎	12,642	9,616	131.5%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>△</b>	<b>65,800</b>	<b>72,209</b>	<b>91.1%</b>

< EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

業務用車両燃料使用量の大きな増減要因は、施工場所が会社所在地から遠隔地に多くあることにより左右されるものと考えられます。昨年に引き続き、施工箇所の分布は遠隔地での施工が多く、数年続けて同じ所で工事を行う物件もでており、人員の配置等で全体量はあがっております。

今年も遠隔地での工事が多く予定されており通勤体系の見直しを進めております、マイカー通勤や宿泊など負担にならない形での対策をし精神的にも安心して業務に邁進できるように進めていきます。

## 環境活動計画結果管理表（二酸化炭素排出量の削減）

### 3) 暖房燃料使用量の削減

<上半期>

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						上半期合計	担当部署
			上半期							
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の実績平均値 対比 7%削減 (38,900L)	①空調温度管理	実施計画	①	③	③	①③	①②③	①	—	全部門
	②定期点検清掃の実施	実施結果	①	③	③	①③	①③	①	—	全部門
	③クールビズの導入	目標値(L)	350	0	0	0	1,322	3,286	4,958	全部門
		実施値(L)	383	0	0	805	1,210	751	3,149	
		評価	△	◎	○	◎	◎	◎	◎	
	達成率	91.3%	157.4%	100.0%	157.4%	157.4%	437.5%	157.4%		

<下半期>

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						下半期合計	担当部署
			下半期							
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の実績平均値 対比 7%削減 (38,900L)	①空調温度管理	実施計画	①	①	①	①	①	①	—	全部門
	②定期点検清掃の実施	実施結果	①	①	①	①	①	①	—	全部門
	③クールビズの導入	目標値(L)	7,975	23,777	14,947	6,736	3,474	1,293	58,202	全部門
		実施値(L)	5,245	1,819	1,916	1,299	1,461	853	12,593	
		評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	達成率	152.1%	1307.4%	780.1%	518.4%	237.8%	157.4%	462.2%		

<取組結果の評価>

	評価	目標値(L)	実施値(L)	達成率
上半期(5月～10月) 10月までの総合評価	◎	4,958	3,149	157.4%
下半期(11月～4月) 4月までの総合評価	◎	58,202	12,593	462.2%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>◎</b>	<b>63,160</b>	<b>15,742</b>	<b>401.2%</b>

### < EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

今回は、工事現場数と、冬季暖房養生が必要な工事、夏季工事でも品質を確保するために暖房を必要とする工事などがほとんど無く、1月～3月の稼働現場も少ない状態であった為エコアクションを始めて以来最低の灯油使用料となりました。数量としては減っていますが、工事の内容と進捗状況で全てがうまく進んだ結果であります。

今期も冬をまたぐ工事が多くありますので工事の状況に注意して対策をたてていくこととします。継続して結果を維持できるよう注力していきます。

## 環境活動計画結果管理表（廃棄物排出量の削減）

### 4) 総廃棄物の削減

<上半期>

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						上半期合計	担当部署
			上半期							
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の実績平均値 対比 7%削減 (16,300t)	①分別の理解と定着実施	実施計画	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	—	全部門
	②両面集約コピー・裏紙利用の推進	実施結果	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	—	全部門
	③紙出力削減の検討	目標値(+)	3,094	1,478	1,061	1,673	965	1,521	9,792	全部門
	④現場からの発注者指定外廃棄物削減	実施値(+)	509	284	318	488	436	556	2,591	建築部 土木部
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	達成率	608%	520%	333%	343%	222%	274%	378.0%		

2019年度の目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						下半期合計	担当部署
			下半期							
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の実績平均値 対比 7%削減 (16,300t)	①分別の理解と定着実施	実施計画	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	—	全部門
	②両面集約コピー・裏紙利用の推進	実施結果	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	①②③ ④	—	全部門
	③紙出力削減の検討	目標値(+)	1,397	1,832	1,343	800	100	336	5,808	全部門
	④現場からの発注者指定外廃棄物削減	実施値(+)	223	838	213	78	424	6	1,781	建築部 土木部
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	達成率	626%	219%	630%	1031%	378%	5333%	326.0%		

<取組結果の評価>

	評価	目標値(t)	実施値(t)	達成率
上半期(5月~10月) 10月までの総合評価	◎	9,792	2,591	378.0%
下半期(11月~4月) 4月までの総合評価	◎	5,808	1,781	326.0%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>◎</b>	<b>15,600</b>	<b>4,372</b>	<b>356.8%</b>

### < EA-21 管理責任者による環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

総廃棄物量は施工数量、特に解体工事物件のボリュームに左右されるところであります。受注量、工事内容によっては、総量自体を抜本的に減少させることが困難なことも考慮しなければなりません。

しかし、今期については大きな解体物件も無く総廃棄物量もリサイクル率についてもエコアクションを始めて最もよい結果になりました。受注内容によるところが大きいですが大幅に達成率は向上しましたので評価は出来ると思います。

今後に向けてまた新たな気持ちで取り組んでいきます。

## 環境活動計画結果管理表（廃棄物排出量の削減）

### 5) 廃棄物リサイクル率の向上

<上半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						上半期 合計	担当 部署
			上半期							
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の 実績平均値 対比 +0.9% (96.0%)	①リサイクル化の検討・実施	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②分類別に再生利用ルートの改善	実施結果	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	③分別しやすい製品の購入	2019廃棄物量(t)	509	284	318	488	436	556	2,591	全部門
		2019リサイクル量(t)	509	284	317	485	431	547	2,573	
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (96.6%以上) 目標値を達成 ○ (96.0~96.5%) 目標値を若干下回った △ (90.1~95.9%) 目標値を大幅に下回った × (90%以下)	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	リサイクル率	100.0%	100.0%	99.6%	99.4%	98.9%	98.4%	99.3%		

<下半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						下半期 合計	担当 部署
			下半期							
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の 実績平均値 対比 +0.9% (96.0%)	①リサイクル化の検討・実施	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②分類別に再生利用ルートの改善	実施結果	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	③分別しやすい製品の購入	2019廃棄物量(t)	223	838	213	78	424	6	1,781	全部門
		2019リサイクル量(t)	223	835	213	78	424	6	1,778	
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (96.6%以上) 目標値を達成 ○ (96.0~96.5%) 目標値を若干下回った △ (90.1~95.9%) 目標値を大幅に下回った × (90%以下)	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	リサイクル率	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%		

<取組結果の評価>

	評価	2019年度 廃棄物量(t)	2019年度 リサイクル量(t)	リサイクル率
上半期(5月~10月) 10月までの総合評価	◎	2,591	2,573	99.3%
下半期(11月~4月) 4月までの総合評価	◎	1,781	1,778	99.8%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>◎</b>	<b>4,372</b>	<b>4,351</b>	<b>99.5%</b>

$$\text{リサイクル率} = (\text{リサイクル総量} / \text{総廃棄物量}) \times 100$$

$$(4,351 / 4,372) \times 100 = 99.5\% < 92.0\% \text{ 目標達成}$$

### < EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

官公庁工事においては、廃棄物リサイクル協議が行われ、コンクリート工作物など解体においてはスムーズにリサイクルが実施されております。しかし、民間のビル等の内・外装解体工事においてはリサイクルとなる廃棄物が少なく、そのような工事が多くなると、リサイクル率が下がることとなります。

当社の受注物件を精査してみると、どうしても民間の工事が多く、リサイクル率は大きな課題といえますが今期は建築工事で大きな解体工事も新築工事も無く、効率よくリサイクル化ができていたと言えます。これから、懸念要素を目標達成はできましたが、受注内容による変動を如何に抑えるかの努力をしていきます。

## 環境活動計画結果管理表（水資源総使用量の削減）

### 6) 本社年間水使用量の削減

<第1・2四半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第1・2 四半期 合計	担当 部署
			第1四半期			第2四半期				
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
過去3年の 実績平均値 対比 6%削減 (225m3)	①節水の呼びかけ	実施計画	①	①	①②③	①	①	①	—	全部門
	②流水音発生装置の導入	実施結果	①	①	①	①	①	①	—	全部門
	③漏水検査の実施	目標値 (m <sup>3</sup> )	20	20	16	16	16	16	104	全部門
		実施値 (m <sup>3</sup> )	12	12	12	12	12	10	68	
		評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)		達成率	173.9%	173.9%	133.3%	139.1%	139.1%	160.0%	152.9%	

<第3・4四半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						第3・4 四半期 合計	担当 部署
			第3四半期			第4四半期				
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
過去3年の 実績平均値 対比 6%削減 (225m3)	①節水の呼びかけ	実施計画	①	①	①	①	①	①	—	全部門
	②流水音発生装置の導入	実施結果	①	①	①	①	①	①	—	建築部 土木部
	③漏水検査の実施	目標値 (m <sup>3</sup> )	22	21	21	21	17	17	119	総務部
		実施値 (m <sup>3</sup> )	10	10	10	10	19	19	78	
		評価	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	
※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)		達成率	220.0%	210.0%	210.0%	210.0%	89.5%	89.5%	152.6%	

<取組結果の評価>

	評価	目標値 (m3)	実施値 (m3)	達成率
第1四半期 (5月~7月) 7月までの総合評価	◎	56	35	160.0%
第2四半期 (8月~10月) 10月までの総合評価	◎	48	33	145.5%
第3四半期 (11月~1月) 1月までの総合評価	◎	64	30	213.3%
第4四半期 (2月~4月) 4月までの総合評価	○	55	48	114.6%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>◎</b>	<b>223</b>	<b>146</b>	<b>152.7%</b>

< EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

今回も昨年に達成した最小数量を再度更新することができました。四半期の総合評価でも全て目標を大幅に上回る結果となりました。原因については正確には把握できていませんが、これから継続していけるように要因を探りながら進めていきます。

## 環境活動計画結果管理表（環境配慮商品の購入促進）

### 7) 環境配慮商品の購入促進

<上半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						上半期 合計	担当 部署
			上半期							
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
2018年度 対比 5品目増 累計62品 目	①エコマーク商品の優先購入	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②再生材料から作られた製品の優先購入	実施結果	①②	①②	①②	①②	①②	①②	—	全部門
	③古紙率の高いコピー用紙・名刺の利用促進	目標値 (品目)	1	—	—	1	—	—	2	全部門
		実施値 (品目)	1	—	—	1	—	—	2	
		評価	—	—	—	—	—	—	○	
	達成率	—	—	—	—	—	—	100.0%		

<下半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						下半期 合計	担当 部署
			下半期							
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
2018年度 対比 5品目増 累計62品 目	①エコマーク商品の優先購入	実施計画	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	①②③	—	全部門
	②再生材料から作られた製品の優先購入	実施結果	①②	①②	①②	①②	①②	①②	—	全部門
	③古紙率の高いコピー用紙・名刺の利用促進	目標値 (品目)	1	—	—	2	—	—	3	全部門
		実施値 (品目)	1	—	—	2	—	—	3	
		評価	—	—	—	—	—	—	○	
	達成率	—	—	—	—	—	—	100.0%		

<取組結果の評価>

	評価	目標値(品目)	実施値(品目)	達成率
上半期(5月～10月) 10月までの総合評価	○	2	2	100.0%
下半期(11月～4月) 4月までの総合評価	○	3	3	100.0%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>○</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>100.0%</b>

< EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

現在、環境配慮商品については、一般量販店でも購入することは可能となっておりますが、社内では、しっかりと、意識付けをして、必ず環境配慮商品を購入するよう徹底してまいります。

## 環境活動計画結果管理表（環境保全取組の促進）

### 8) 環境保全取組実施

<上半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						上半期 合計	担当 部署
			上半期							
			5月	6月	7月	8月	9月	10月		
社員への 環境教育 2回 ボランティア 活動2回 千年の森 活動1回	①教育訓練の実施	実施計画	①②③	②③④	③	③	③⑤	③	—	全部門
	②年間取組み状況チェック	実施結果	①②③	②③④	③	③	③⑤	③	—	全部門
	③EA-21の確実な実施	目標値 (回数)	教育1回	ボランティア 1回	—	—	千年1回	—	教育1回 ボランティア 1回 千年1回	全部門
	④清掃・地域ボランティア活動 ⑤千年の森、植樹プロジェクト参加	実施値 (回数)	教育1回	ボランティア 1回	—	—	千年1回	—	教育1回 ボランティア 1回 千年1回	全部門
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	—	—	—	—	—	—	○	
達成率	—	—	—	—	—	—	—	100%		

<下半期>

2019年度 の 目標	取組み実施項目		月別実行計画及び進捗管理						下半期 合計	担当 部署
			下半期							
			11月	12月	1月	2月	3月	4月		
社員への 環境教育 2回 ボランティア 活動2回 千年の森 活動1回	①教育訓練の実施	実施計画	③	①③	③	③④	③	③	—	全部門
	②年間取組み状況チェック	実施結果	③	①③	③	③④	③	③	—	全部門
	③EA-21の確実な実施	目標値 (回数)	—	教育1回	—	ボランティア 1回	—	—	教育1回 ボランティア 1回	全部門
	④清掃・地域ボランティア活動、千年の 森、植樹プロジェクト参加	実施値 (回数)	—	教育1回	—	ボランティア 1回	—	—	教育1回 ボランティア 1回	全部門
	※ 評価について 目標値を大幅に達成 ◎ (120%以上) 目標値を達成 ○ (100~119.9%) 目標値を若干下回った △ (99.9~80%) 目標値を大幅に下回った × (79.9%以下)	評価	—	—	—	—	—	—	○	
達成率	—	—	—	—	—	—	—	100%		

<取組結果の評価>

	評価	目標値(回数)	実施値(回数)	達成率
上半期(5月~10月) 10月までの総合評価	○	教育1回 ボランティア1回 千年の森1回	教育1回 ボランティア1回 千年の森1回	100%
下半期(11月~4月) 4月までの総合評価	○	教育1回 ボランティア1回	教育1回 ボランティア1回	100%
<b>2019年度の総合評価</b>	<b>○</b>	<b>教育2回 ボランティア2回 千年の森1回</b>	<b>教育2回 ボランティア2回 千年の森1回</b>	<b>100%</b>

< EA-21 管理責任者による 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組内容 >

環境活動は、ある程度定着してきており、定期的な活動となってきております。

内容については、マンネリ化にならないように注力しておりますが、永続的に活動していくことが肝要であると考えております。評価される、されないに拘わらず、自分たちで続けていく心と環境を維持して行けるように、教育から行動へ、さらには自発的に日常生活に反映させる流れが生まれることを目標といたします。



## 8. 環境関連法規の遵守状況と違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な環境関連法規制事項は下表の通りであります。  
 関連法規制の厳守状況を2020年5月にEA-21事務局、管理責任者及び担当部署責任者により確認チェックを実施しましたが、法令違反等はありませんでした。  
 又、地域住民、関係機関及び顧客からの小さなクレームや要望は有るものの訴訟等に発展する事案は無かった事をご報告いたします。

環境法規制等の名称	主要な法規制等	当社の厳守・対応事項	厳守状況
廃棄物処理法 (北海道環境基本条例) (小樽市条例)	・産業廃棄物の保管基準の遵守 ・産業廃棄物の処理委託基準の遵守 ・産業廃棄物管理票の管理義務	・保管場所、内容物の適正掲示 ・委託業者との契約書、許可書等確認 ・交付日からの指定内受領、保管義務	厳守確認済
建設リサイクル法	・分別解体等実施義務 ・特定建設資材の確認 ・対象建設工事の届出に関する事項	・施工規則、基準による分別解体 ・コンクリート、コンクリート及び鉄、アスファルト等 ・着工7日前の所定様式届出厳守	厳守確認済
大気汚染防止法 建設物の解体等に係る石綿 飛散防止対策マニュアル	・特定粉じん等発生施設 ・解体・改修工事に伴う石綿等の 除去作業等	・特定粉じん排出等作業実施届出書 ・開始14日前までに知事に計画提出 ・特別管理産業廃棄物管理責任者配置	厳守確認済
労働安全衛生法	・解体・改修工事に伴う『石綿等』の 除去作業(石綿障害予防規則)	・開始14日前までに監督署計画提出 ・作業環境測定、健康診断(6ヶ月) ・記録の保存(40年間)	厳守確認済
家電リサイクル法	・廃棄時の引き取り業者への引渡し 料金支払い	・廃棄時に指定業者に処理依頼	厳守確認済
消防法	・灯油タンク設置時の消防署への届出 少量危険物(200リットル以上)	・許可証、届出書の確認	厳守確認済
騒音・振動規制法	・(騒音規制法)-知事への届出 ・(騒音規制法)-知事への届出	・知事へ7日前までに届け出 作業敷地境界にて85デシベル以下 ・知事へ7日前までに届け出 作業敷地境界にて75デシベル以下	厳守確認済
水質汚濁防止法	・有害物質に係わる一律排水基準 (北海道) ・生活環境項目等(北海道)	・疑いがある場合は速やかに認定機関 による水質検査を実施する (基準値については、北海道水質汚濁 に係わる一律排水基準参照)	厳守確認済
オフロード法	・ブルドーザ、クローラークレーン、 杭打ち機等	・適合証明書 ・平成18年4月施工前販売証明	厳守確認済
フロン排出抑制法	・機器の設置に関する義務 ・機器の使用に関する義務 ・機器の廃棄等に関する義務	・適切な場所への設置 ・機器の点検(簡易点検、定期点検) ・漏えい防止措置、修理しないままの充填の禁止 ・機器の点検・修理、冷媒の充填・ 回収等の履歴を記録・保存 ・報告(漏洩量が1000t-CO2以上の場合)	厳守確認済

※ 上記記載事項は各環境法規及び条例の代表的な一部分を掲載しています。  
 また、工事施工前には条例・政令を各市町村担当者に確認を行い、工事着手とします。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境目標に対する達成状況結果は、昨年に引き続き各項目の達成率を独自に点数化した2013年以降、最も高い総合点数となりました。(4ページ参照)  
車両燃料についてのみ、未達成となっていますが、小樽市内での現場数より遠方にある地方での現場数が年々多くなり、通通勤や移動に要する消費燃料が増加する傾向となっております。

活動を始めて10年目を向かえて建設業という特殊な業態を工事売上高と工種とを勘案して独自の指標を模索していくことも必要であると思っております。

今回の報告では目標値の作成時と実施時期とのギャップがかなり大きすぎましたので、今後に向けて実施時期の状況に合う目標値を考えていきたいと思えます。

今後もニセコ方面や遠方地域での事業は増加すると考えられる事から、一定距離以上で通通勤が予定される職員に対しての合理的な費用清算の実施や規定の整備を始めており現在進行中であります。

本年、新型コロナウイルスの影響で現場の負担もかなり増えております。

社員ともども一緒に乗り越えてその先の社会へ向かって邁進する所存です。

職員一人一人が深く認識し、先人達が残してくれた美しい未来を担う子供たちに譲り渡すことが我々の大きな責務と感じ、継続可能な循環型社会形成を目指します。



2019年9月23日 『千年の森』植樹活動参加

## エコアクション21 環境経営レポート

---

(2010年)	平成22年	10月 7日	初版発行
(2011年)	平成23年	7月 20日	第二版発行(2010年度分)
(2012年)	平成24年	7月 20日	第三版発行(2011年度分)
(2013年)	平成25年	7月 22日	第四版発行(2012年度分)
(2014年)	平成26年	7月 15日	第五版発行(2013年度分)
(2015年)	平成27年	7月 21日	第六版発行(2014年度分)
(2016年)	平成28年	7月 20日	第七版発行(2015年度分)
(2017年)	平成29年	7月 20日	第八版発行(2016年度分)
(2018年)	平成30年	7月 25日	第九版発行(2017年度分)
(2019年)	令和01年	7月 22日	第十版発行(2018年度分)
(2020年)	令和02年	9月 15日	第十一版発行(2019年度分)

編 者 阿 部 建 設 株 式 会 社  
E A - 2 1 委 員 会

発 行 者 EA-21 推 進 組 織 管 理 責 任 者  
今 野 博

発 行 所 阿 部 建 設 株 式 会 社  
E A - 2 1 事 務 局

北海道 小樽市 緑1丁目5番1号  
〒047-0034

発行日:2020年9月15日(第十一版) 電話 0134-23-6221  
(令和2年) FAX 0134-33-8621